

若葉ホールでのリサイタルを始めてから、早くも3回目の開催となりました。これも日ごろから応援して下さる皆様あってのことだと心から感じます。私の音楽活動を支えて下さる千葉の方へ、恩返し of 想いで始めたこのコンサートでしたが、今や私が皆様からエネルギーや生きる力を与えて頂いていることを実感いたします。生まれ故郷で歌える幸せと感謝を込めて、今回は我々の財産でもある美しい言語、「日本語」を、素敵なお花束にしてお届けいたします。

西村 悟



西村 悟 / テノール Satoshi Nishimura



千葉県千葉市若葉区小倉台出身。

千葉市立小倉小学校、千葉市立若松中学校、東海大学付属浦安高等学校を経て、日本大学芸術学部音楽学科へ入学。その後東京藝術大学大学院オペラ科を修了。

第36回イタリア声楽コンクール・ミラノ部門にて大賞(1位)を受賞し、国立ボローニャ音楽院へ留学。文化庁新進芸術家海外派遣員としてヴェローナへ再渡伊。第17回リッカルド・ザンドナーイ国際声楽コンクールにて第2位、並びに審査委員長特別賞を受賞。第80回日本音楽コンクールにて第1位、並びに聴衆賞を受賞。

大野和士指揮水戸室内管弦楽団とブリテンの「ノクターン」、山田和樹指揮スイス・ロマン管弦楽団とメンデルスゾーン「交響曲「讃歌」、佐渡裕指揮ケルン放送交響楽団と「第九」を共演。インキネン指揮日本フィルとのマラー「大地の歌」、ドミンゴ・インドヤン指揮新日本フィルハーモニー管弦楽団、そして大友直人及び秋山和慶指揮東京交響楽団と「第九」で共演。小林研一郎指揮名古屋フィルハーモニー管弦楽団とヴェルディ「レクイエム」で共演するなど、様々な演目を著名指揮者と共演。そして2017年には大野和士指揮バルセロナ交響楽団との共演

でメンデルスゾーン「讃歌」のソリストを務めヨーロッパデビューを果たし、現地の有力紙「La Vanguardia」にて高評された。

オペラでは、新国立劇場「夜叉ヶ池」、藤原歌劇団「ラ・トラヴィアータ」「蝶々夫人」「仮面舞踏会」「ルチア」、日生劇場「魔笛」に出演。2017年3月にはびわ湖プロデュース・オペラの沼尻竜典指揮「ラインの黄金」にローグ役で出演し絶賛された。

また「NHKニューイヤーパーformance」を始め、「題名のない音楽会」等メディアでも活躍。

平成20年度第7回千葉市芸術文化新人賞を受賞。平成25年度五島記念文化賞オペラ部門オペラ新人賞受賞。第23回出光音楽賞受賞。藤原歌劇団団員、日本大学芸術学部音楽学科非常勤講師。

加藤 紗耶香 / ピアノ Sayaka Kato



2歳からピアノを始める。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科(ピアノ)首席入学・卒業。東京音楽大学器楽専攻(ピアノ)演奏家コース卒業、東京音楽大学大学院器楽専攻鍵盤楽器研究領域(伴奏)修了。これまでにピアノソロ、中山直子、小倉郁子、菊地麗子、弘中幸子、野中正の各氏、伴奏法を 土田英介、水谷真理子、伊賀あゆみの各氏、室内楽を山岡智、浦川宜也、竹中勇人の各氏に師事。国内外のマスタークラス等へ選出され、ユゼフ・シュトネル、コスティン・フィリポウ、ジュゼッペ・サッパティエニ他各氏のレッスンを受講。多数のコンクールでの入賞歴を持ち、演奏会や音楽祭へ多数出演。様々な団体にて、オペラの稽古・本番ピアニスト、コレペティートルを務め、リサイタル伴奏や声楽コンクールでの公式伴奏も数多く務めている。また、活動は多岐に渡り、ソロ・器楽の伴奏・室内楽ピアニスト、オーケストラ内の鍵盤奏者等としても精力的に活動しており、近年は編曲家としてオーケストラ作品やミュージカル作品のアレンジも手がけている。私立宇都宮短期大学附属高校音楽科及び宇都宮共和大学ピアノ科講師。日本オペラ振興会育成部ピアノ講師。ヴェルデ协会会员。

千葉市若葉文化ホール

〒264-0004 千葉市若葉区千城台西2-1-1
千葉モノレール千城台駅から徒歩3分

千葉モノレール千城台駅 ・JR千葉駅から約25分
・JR都賀駅から約8分

